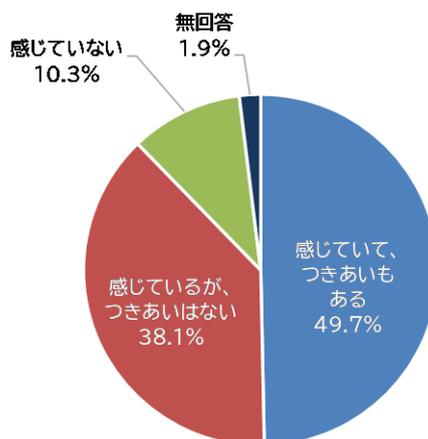


8. 地域の支え合いについて

問 28 あなたは隣近所など地域の人とのつきあいを必要と感じていますか。

- ・「感じていて、つきあいもある」が49.7%で、全体の約半数を占める。「感じているが、つきあいはない」は38.1%、「感じていない」は10.3%で全体の1割程度である。

図 地域の人とのつきあいについて(n=1,284)



■ 年齢別 地域の人とのつきあいについて

- ・40代以下の世代では「感じているが、つきあいはない」、50歳以上の世代では「感じていて、つきあいもある」が最も多く、50代を境に傾向が分かれた。
- ・20歳未満と20～29歳では「感じていない」、30～39歳では「感じていて、つきあいはない」「感じていない」、70～79歳、80歳以上では「感じていて、つきあいもある」の数値が全体値を10ポイント以上上回っており、年齢が高いほど隣近所との付き合いの必要性を強く感じる傾向にある。

		合計	問28 隣近所など地域の人とのつきあいの必要性			
			感じていて、つきあいもある	感じているが、つきあいはない	感じていない	無回答
問45 年齢	全体	1284	49.7	38.1	10.3	1.9
	20歳未満	11	27.3	45.5	27.3	0.0
	20～29歳	67	23.9	46.3	28.4	1.5
	30～39歳	99	28.3	49.5	21.2	1.0
	40～49歳	154	38.3	46.7	15.6	0.0
	50～59歳	245	48.2	39.6	11.4	0.8
	60～69歳	202	51.0	40.1	7.9	1.0
	70～79歳	279	62.7	31.5	3.6	2.2
	80歳以上	198	63.1	28.8	4.5	3.5

■ 居住地域別 地域の人とのつきあいについて

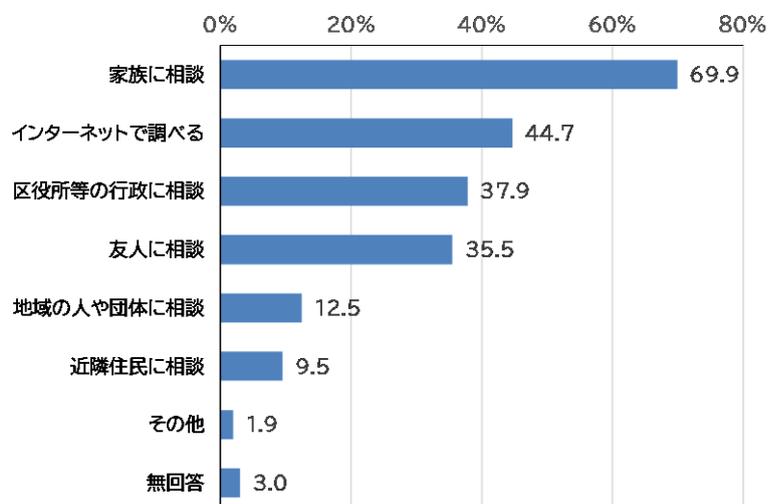
- ・ 瀬谷第一では「感じているが、つきあいはない」、その地の地区では「感じていて、つきあいもある」が最も多い。
- ・ 「感じていて、つきあいもある」の数値が最も高いのは阿久和南部、次いで細谷戸、瀬谷第四、本郷、「感じていない」の数値が最も高いのは細谷戸である。

		合計	問28 隣近所など地域の人とのつきあいの必要性			無回答
			感じていて、つきあいもある	感じていますが、つきあいはない	感じていない	
	全体	1284	49.7	38.1	10.3	1.9
連合自治会 町内会別	阿久和北部連合自治会	122	50.0	44.3	3.3	2.5
	阿久和南部連合自治会	118	59.3	28.8	8.5	3.4
	三ツ境連合自治会	86	51.2	39.5	9.3	0.0
	瀬谷第一地区連合町内会	62	40.3	45.2	12.9	1.6
	本郷地区連合自治会	73	52.1	31.5	13.7	2.7
	瀬谷北部町内連合会	88	47.7	38.6	12.5	1.1
	瀬谷第二地区連合自治会	231	49.8	41.1	8.7	0.4
	細谷戸連合町内会	24	58.3	20.8	16.7	4.2
	瀬谷第四地区連合自治会	126	52.4	37.3	8.7	1.6
	南瀬谷自治連合会	77	51.9	36.4	11.7	0.0
	宮沢連合自治会	104	51.9	31.7	12.5	3.8
	相沢町内連合会	161	42.2	41.6	13.7	2.5

問 29 あなたは生活に関わる困りごとがあった場合どのように解決しますか。

- ・「家族に相談」が69.9%で最も多く、7割の人が挙げている。次いで「インターネットで調べる」が44.7%である。以下「区役所等の行政に相談」(37.9%)、「友人に相談」(35.5%)などと続く。

図 生活に関わる困りごとの解決方法(n=1,284)



■ 年齢別 生活に関わる困りごとの解決方法

- ・ いずれの世代でも「家族に相談」が最も多い。
- ・ 20歳未満では「家族に相談」「友人に相談」、20～29歳と50～59歳では「インターネットで調べる」、30～39歳では「家族に相談」「友人に相談」「インターネットで調べる」、40～49歳では「友人に相談」「インターネットで調べる」、60～69歳では「区役所等の行政に相談」の数値が、それぞれ全体値を10ポイント以上上回っている。

		合計	問29 生活に関わる困りごとの解決法							
			家族に相談	友人に相談	区役所等の行政に相談	近隣住民に相談	地域の人や団体に相談	インターネットで調べる	その他	無回答
	全体	1284	69.9	35.5	37.9	9.5	12.5	44.7	1.9	3.0
問45 年齢	20歳未満	11	90.9	54.5	36.4	9.1	0.0	54.5	0.0	0.0
	20～29歳	67	71.6	44.8	20.9	1.5	3.0	70.1	0.0	1.5
	30～39歳	99	82.8	56.6	30.3	9.1	9.1	70.7	0.0	1.0
	40～49歳	154	75.3	49.4	28.6	10.4	6.5	70.1	2.6	0.6
	50～59歳	245	73.5	41.2	33.5	8.6	9.4	62.4	1.6	0.4
	60～69歳	202	66.3	36.6	50.5	7.4	12.9	45.5	2.5	1.0
	70～79歳	279	69.5	26.5	39.1	9.7	14.7	26.5	1.8	4.7
	80歳以上	198	63.1	17.7	46.0	14.6	20.7	10.1	3.0	6.6

問 30 あなたが地域で行われている様々な活動に参加してよかったと思うことは何ですか。

また、今後参加した場合に期待することは何ですか。

- ・「仲間ができた(仲間をつくりたい)」が 34.7%で最も多くなっている。次いで「地域を知ることができた(地域を知りたい)」が 31.2%である。以下「社会貢献ができた(社会貢献したい)」(19.5%)、「健康になった(健康になりたい)」(17.4%)などと続く。
- ・令和元年度調査結果と比較すると、いずれの項目も割合が減少し、無回答の割合が増加している。

図 地域で行われている様々な活動に参加してよかったと思うこと、期待すること(n=1,284)

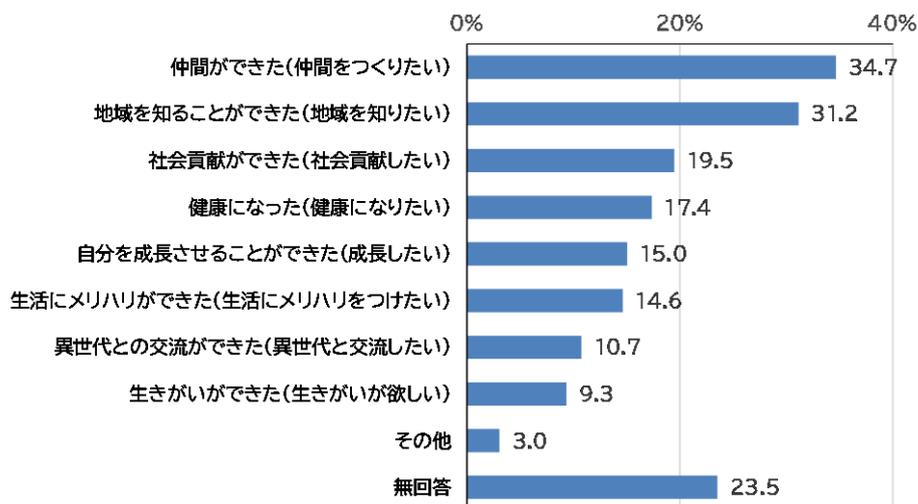
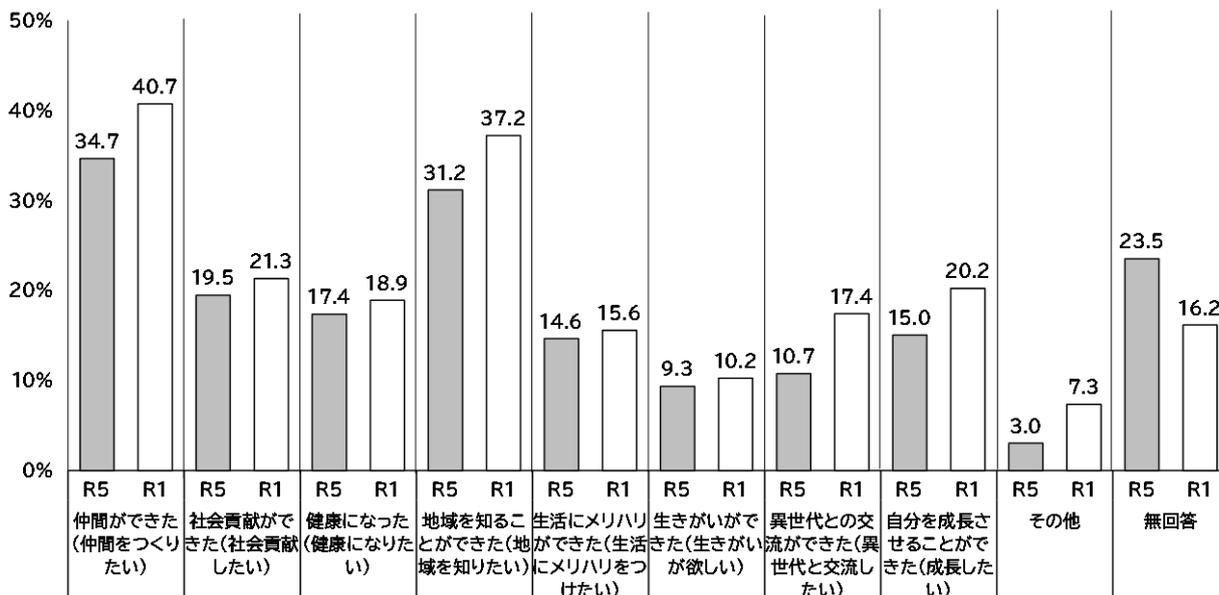


図 地域で行われている様々な活動に参加してよかったと思うこと、期待すること
(令和元年度調査結果との比較)



■ 年齢別 地域で行われている様々な活動に参加してよかったと思うこと、期待すること

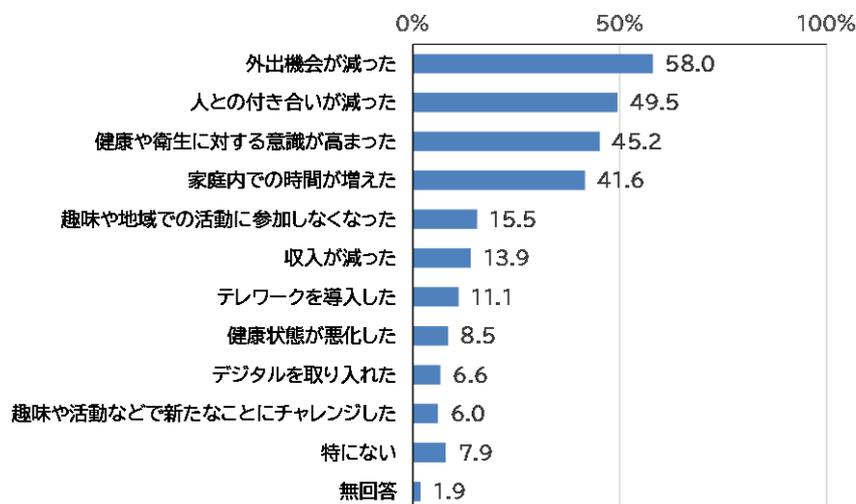
- ・ 40代から60代までの世代では「地域を知ることができた(地域を知りたい)」、それ以外の世代では「仲間ができた(仲間をつくりたい)」が最も多い。
- ・ 20歳未満では「仲間ができた(仲間をつくりたい)」「自分を成長させることができた(成長したい)」、80歳以上では「仲間ができた(仲間をつくりたい)」の数値が全体値を10ポイント以上上回っている。

		合計	問30 あなたが地域で行われている様々な活動に参加してよかったと思うこと、また、今後参加した場合に期待すること									
			仲間ができた(仲間をつくりたい)	社会貢献した(社)	健康になった(健康に)	地域を知ることができた(地)	生活にメリハリができた(生)	生きがいがあった(生)	異世代との交流ができた(異)	自分(成長)させた(自)	その他	無回答
問45 年齢	全体	1284	34.7	19.5	17.4	31.2	14.6	9.3	10.7	15.0	3.0	23.5
	20歳未満	11	45.5	18.2	9.1	18.2	9.1	9.1	18.2	36.4	0.0	18.2
	20~29歳	67	28.4	17.9	10.4	23.9	7.5	7.5	10.4	20.9	1.5	29.9
	30~39歳	99	38.4	13.1	14.1	37.4	15.2	4.0	13.1	19.2	3.0	18.2
	40~49歳	154	31.8	20.1	16.2	33.8	7.1	8.4	7.8	15.6	5.2	19.5
	50~59歳	245	29.0	26.5	14.3	33.1	11.0	8.2	12.7	13.9	2.4	20.0
	60~69歳	202	29.7	21.8	17.8	32.2	17.8	10.9	12.4	10.9	2.0	24.8
	70~79歳	279	38.0	18.6	17.9	31.9	21.5	9.7	9.0	14.7	3.2	24.7
	80歳以上	198	45.5	14.1	25.3	26.8	15.7	12.6	10.1	15.7	2.5	26.3

問 31 コロナが流行して、生活や行動にどのような変化がありますか。

- ・「外出機会が減った」が58.0%で最も多い。次いで「人との付き合いが減った」が49.5%である。以下「健康や衛生に対する意識が高まった」(45.2%)、「家庭内での時間が増えた」(41.6%)を40%以上の人が挙げている。

図 コロナの流行による生活や行動の変化(n=1,284)



■ 年齢別 コロナの流行による生活や行動の変化

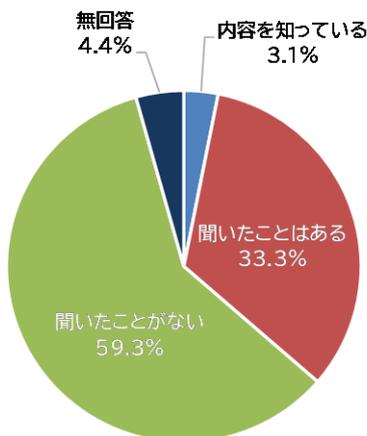
- ・20歳未満、20～29歳では「家庭内での時間が増えた」、40～49歳では「人との付き合いが減った」、それ以外の世代では「外出機会が減った」が最も多い。
- ・20歳未満では「デジタルを取り入れた」「趣味や活動などで新たなことにチャレンジした」「健康状態が悪化した」「家庭内での時間が増えた」、20～29歳では「趣味や活動などで新たなことにチャレンジした」、30～39歳では「テレワークを導入した」の数値が全体値を10ポイント以上上回っている。

	合計	問31 コロナが流行した生活や行動の変化												
		収入が減った	デジタルを取り入れた	人との付き合いが減った	趣味や活動などで新たなことにチャレンジした	テレワークを導入した	外出機会が減った	健康や衛生に対する意識が高まった	健康状態が悪化した	趣味や地域での活動に参加しなくなった	家庭内での時間が増えた	特にない	無回答	
全体	1284	13.9	6.6	49.5	6.0	11.1	58.0	45.2	8.5	15.5	41.6	7.9	1.9	
20歳未満	11	0.0	18.2	27.3	18.2	9.1	54.5	54.5	27.3	0.0	63.6	9.1	0.0	
20～29歳	67	22.4	14.9	41.8	16.4	20.9	43.3	41.8	10.4	14.9	44.8	13.4	0.0	
30～39歳	99	19.2	9.1	49.5	9.1	24.2	56.6	37.4	1.0	13.1	39.4	5.1	0.0	
40～49歳	154	17.5	11.0	59.7	4.5	18.8	50.0	33.8	11.0	13.0	37.0	7.1	0.0	
50～59歳	245	18.0	9.8	46.5	7.8	18.0	53.9	40.4	7.3	14.7	37.6	9.4	0.4	
60～69歳	202	16.3	4.0	47.0	4.0	11.4	57.9	51.5	5.4	12.9	34.7	8.4	1.5	
70～79歳	279	9.7	4.3	53.4	4.3	2.5	65.9	48.7	9.7	14.3	48.4	5.7	2.2	
80歳以上	198	4.5	1.5	51.0	3.5	0.0	66.7	54.5	11.1	24.2	49.0	6.6	4.5	

問 32 「暮らしやすいまちづくりの計画(瀬谷区地域福祉保健計画)」を知っていますか。

- ・ 「聞いたことがない」が 59.3%で最も多く、認知度は高いとはいえない。「聞いたことはある」は 33.3%、「内容を知っている」は 3.1%にとどまっている。

図 「暮らしやすいまちづくりの計画(瀬谷区地域福祉保健計画)」の認知度(n=1,284)



※「暮らしやすいまちづくりの計画(瀬谷区地域福祉保健計画)」とは、誰もが安心して自分らしく暮らせる地域づくりを目指す計画のこと。

■ 年齢別 「暮らしやすいまちづくりの計画(瀬谷区地域福祉保健計画)」の認知度

- ・ 80 歳以上のみ「聞いたことはある」「聞いたことがない」が同率、それ以外の世代では「聞いたことがない」が最も多い。
- ・ 「聞いたことがない」の数値は、20 歳未満、20～29 歳、30～39 歳、50～59 歳で全体値を 10 ポイント以上上回っており、20 代を中心に若い世代での認知度が低くなっている。

	合計	問32 「暮らしやすいまちづくりの計画(瀬谷区地域福祉保健計画)」の認知度			
		内容を知っている	聞いたことはある	聞いたことがない	無回答
全体	1284	3.1	33.3	59.3	4.4
問45 年齢					
20歳未満	11	0.0	27.3	72.7	0.0
20～29歳	67	0.0	14.9	83.6	1.5
30～39歳	99	1.0	26.3	71.7	1.0
40～49歳	154	1.3	35.7	62.3	0.6
50～59歳	245	2.0	26.5	70.2	1.2
60～69歳	202	3.5	28.7	63.9	4.0
70～79歳	279	3.9	42.3	47.3	6.5
80歳以上	198	6.1	42.4	42.4	9.1